



世界自然遺産「小笠原」にある小学校



小笠原村立 小笠原小学校

父島ならではの特色ある教育活動

「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」

確かな学力

島ならではの感性を生かして、どこにでも通用する学力を身に付けさせるために、小・中学校9年間の系統的な学びを推進し、『わかる』から『できる』授業の実現を目指します。そのために、児童が「～したい」と思う授業改善を図ります。



問題解決的な学習



担当とALT協働の外国語



きめ細やかな算数少人数指導



タブレット端末の効果的活用

「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」

小笠原学習

南洋踊りや小笠原太鼓をはじめとした小笠原の伝統・文化を学ぶ授業、アオウミガメをはじめ、アホウドリ、固有種や希少種を教材とした授業など『小笠原学習』を通して、郷土愛や豊かな心を育成します。



5年「アオウミガメの学習」



6年「アホウドリの学習」



4年「小笠原太鼓の学習」



3年「南洋踊り」

教育目標は、知・徳・体の調和

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう



小笠原 をこよなく愛し、次世代を担う子供たちの育成のために、一緒に働いてみませんか。

小笠原小学校での教員経験は、きっとあなたの大きな宝となります。

小笠原小学校ホームページ（竹芝より1000km南から更新中）
<https://www.ogashou.ogasawara.ed.jp>



〒100-2101 東京都小笠原村父島字宮之浜道

TEL 04998-2-2012

World Natural Heritage Ogasawara Islands
 世界自然遺産 小笠原諸島

令和7年度 小笠原村立小笠原小学校 学校経営グランドデザイン

○学習指導要領

- ・個別最適な学びと協働的な学び
- 東京都教育施策大綱
- ・誰一人取り残さず、全ての児童が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育
- 小笠原村教育委員会主要施策
- ・小中一貫教育を基盤とした各種教育活動の拡充

教育目標

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう

○本校の概要

- ・創立57周年
- ・地域に開かれた学校
- ・素直で学習意欲のある児童が多く、落ち着いた環境
- ・通常の学級6学級（副担任制）
- ・特支知的・情緒固定特別支援教室
- ・小中一貫教育推進

ほめて共感して考えさせる教育

目指す児童像

- 「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」があふれる児童
- 柔軟なものの見方・考え方をもち、学び続ける児童【確かな学力】
- 規範意識と思いやりのある児童【豊かな人間性】
- 健康に関心をもち、進んで体を動かす児童【健康・体力】

目指す学校像

笑顔で始まり、言葉で自分の思いや考えを伝え合い、本気で力を発揮する最幸の学校

目指す教師像

「教職員が児童の成長を自分のことのように喜び合える」豊かな人間性と指導力、情熱をもち、児童の声に傾聴し、共感できる教職員。
※笑顔・あいさつ・チャレンジ・組織の意識→統一感をもった指導

重点目標と方策

1 「確かな学力」の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」があふれる授業。基礎的・基本的な知識や技能の定着と体験活動、タブレット端末の効果的な活用
- ユニバーサルデザインを活用した授業改善
- 主体的に学ぶ意欲の向上、学習習慣の定着（家庭学習）
- 地域を生かした教育活動の充実（小笠原学習）
- 9年間の学びの連続性（小中一貫教育）
- 読書活動の充実（朝読書、読書週間、図書ボランティア、環境整備）

2 「豊かな心」の育成

- 互いに認め合い、児童にとって、居心地のよい学級、学校づくり
- 生命の大切さ、思いやりの心の育成
- 異学年交流（なかよし班）や地域との交流活動の充実
- 基本的な生活習慣と規範意識の育成
- 差別やいじめを絶対に許さない指導の徹底
- 道徳授業を中心とした全教育活動における心の教育・道徳教育の推進
- 人権教育の充実

3 「健やかな体」の育成

- 体力向上の取組（体力テストの結果分析）
- 健康な生活習慣の定着（手洗い、うがい、換気等による感染対策の徹底）
- 食育の充実（バランスのよい食生活・食事のマナー）、歯磨き習慣→家庭との連携
- 保健指導の充実と家庭と連携した生活習慣の定着
- 安全教育の推進（生活安全・交通安全・災害安全）特に災害安全の重視（防災学習・避難訓練）

4 「支援体制」の充実

- インクルーシブ教育の推進
- 児童相互が多様性を理解し、共に学び生活できる環境・授業づくり（交流及び共同学習・小集団学習）
- ヤシの木学級・ヤシの木特別支援教室の適正な運営と充実
- 支援委員会の運営と対応の充実（配慮を必要とする児童の実態把握、早期の相談、支援等）
- 教育相談の充実（教育相談的手法を生かした指導、SCの活用）
- 保育園との連携、体験授業の実施及び中学校との連携強化

5 「学校・家庭・地域社会」との連携強化

- 学校評価を生かした学校経営の充実
- 教育活動の迅速な情報発信と情報共有（学校だより、学級だより、学校WEBサイト等）
- 教育活動の公開（学校公開、行事、道徳授業地区公開講座等）
- 学校間連携教育の推進（小中一貫、千代田区立麹町小学校、母島小学校との学習交流、小笠原高校との連携）
- 地域教材・人材を活用した教育活動の充実（小笠原学習）
- 地域行事への参加・協力（地域との交流活動）

6 「学校力・教師力」の向上

- 組織的・計画的・効果的な学校運営（職層を生かした組織運営、報告・連絡・相談・確認の徹底）
- 学級担任・副担任によるチームでの学年運営と対応力の向上
- 小中一貫教育に向けた取組の充実
- 校内研究の充実と相互授業観察等を通じた教員の授業力向上
- 教育効果を高める事務執行（情報管理の徹底、コスト意識）
- 働き方改革と健康の維持・増進

小中一貫教育の充実(9年間の学びの連続性)